

## 安達太田川（二本松市）の事業が完了しました！

（令和3年6月撮影）



改良前の安達太田川

3年後  
の様子

（令和6年4月撮影）

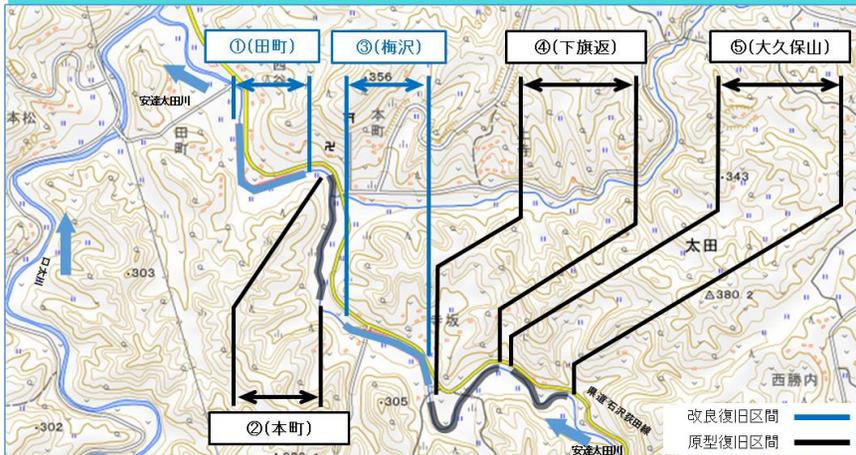


改良後の安達太田川

本事業は、**改良復旧区間**（河川を広げる区間）と **原型復旧区間**（元通りにする区間）の工事を実施しました

**改良復旧区間**：令和元年10月の台風19号豪雨時の流量が流れるよう、川幅を広げる等の改修を行い、**全区間で工事が完成しました。**

**原型復旧区間**：現在の護岸ブロック等を極力利用しながら復旧工事を行い、**全区間で工事が完成しました。**



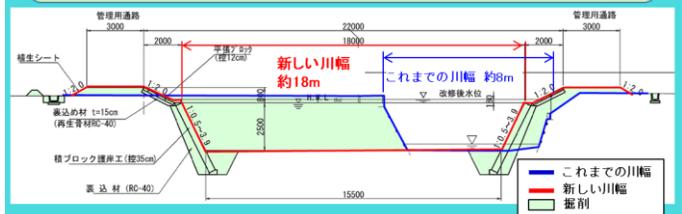
二本松市を流れる安達太田川は、令和元年10月の台風19号の豪雨で被災しましたが、令和6年3月に、全区間で工事が完成しました。

元通りにする区間（②、④、⑤）と、川幅を広げる区間（①、③）で工事を進めてきました。

地域の皆さまのご理解、ご協力ありがとうございました。

### 改良復旧区間について

- ①現在の護岸ブロックを利用しながら、狭い区間を広げました
- ②堤防が低い箇所は、嵩上げ（30～60cm）して高くなりました
- ③川沿いに維持管理のための通路を1mないし3m設けました



### 【令和元年東日本台風関連】

#### ●改良復旧事業

- ①山舟生川 [伊達市]
- ②広瀬川 [川俣町]
- ③移川 [二本松市]
- ④安達太田川 [二本松市] ⇒R6.3完了

#### ●背水対策事業

- ①滝川・滑川 [国見町]
- ②塩野川 [伊達市]
- ③佐久間川 [桑折町]
- ④濁川 [福島市]
- ⑤安達太良川 [本宮市]



山舟生川（伊達市） 護岸整備状況



塩野川（伊達市梁川町） 堤防・護岸整備状況

（裏面あります！）

# 本宮三春線が開通して日本宮町と旧白沢村がつながりました



道路パトロール車を先頭に、  
通り初めを行いました。

県道本宮三春線は、日本宮町と旧白沢村の合併により誕生した「本宮市」の新たなまちづくりの実現や地域間の交流促進を担う重要な道路です。

本宮市高木地区においては、自動車のスムーズなすれ違いや歩行者の安全確保が課題であるため、県では平成22年度から、市町村合併支援道路として事業に着手し、道路整備を進めてきました。

令和6年3月16日の開通により、高木地区の安全で円滑な通行が確保されるとともに、地域間の交流や物流の活性化がより一層図られ、地域の更なる発展につながるものと期待しています。

地域の皆さまのご理解、ご協力ありがとうございました。



快晴の空の下で  
開通式が  
執り行われました。



安達太良山をバックに、  
ドライブをお楽しみください。

本宮高等学校吹奏楽部による  
演奏も行われました。



## 着任のご挨拶



吉田伸明所長

ー着任の抱負は。

管内の自然の豊かさ、多彩な文化・歴史などあらためて魅力を感じます。

高次な都市機能や豊富な地域資源のポテンシャルを十分に発揮し、管内市町村や各地域が目指す将来像の実現に向け、インフラ機能を維持する適切な管理や、災害に強い安全な基盤づくりに職員と心を合わせて取り組んでいきます。

ー防災・減災、国土強靱化への対応は。

令和4年3月の福島県沖地震により被災した国道399号伊達橋、県道浪江国見線伊達崎（だんごき）橋は、早期の復旧に向け国や地元自治体としっかり連携していきます。

前任の勤務地（いわき市）で線状降水帯による豪雨災害を経験し、防災対策の重要性を痛感しました。激甚化する自然災害に対し、災害に強く命を守る基盤整備、普段からの準備や想像力を大事にする防災意識の高いまちづくりに市町村などと協力しながら取り組む考えです。これらを踏まえ、河道掘削や樹木伐採などによる治水対策、砂防えん堤工などの土砂災害対策、橋梁の耐震化、道路の無電柱化などにも積極的に取り組んでいきます。

土木部道路計画課長、いわき建設事務所長を経て、令和6年4月1日から現職。  
毎日1万歩を目標にウォーキングを続けており、5年目となりました。

松川（福島市）  
※河道掘削  
・樹木伐採実施



施工前



施工後

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a/>

